

月刊推進技術 10月号「Topicsのページ」に第15回定時総会及び設立15周年祝宴会の開催とEGSM工法アースオーガータイプの普及強化についての内容が掲載されました。



Topics 浸水対策に即効性のあるEGSM工法アースオーガータイプの普及強化を

全国非開削普及協議会



▲「即効性のある浸水対策としてアースオーガータイプの強化を」と今年度の強化策を示す岡本会長



▲「15周年を迎えられたのは会員各社のご理解とご協力の賜物」とあいさつする富樫会長



▲ 乾杯発声をする小荒井理事

全国非開削普及協議会（岡本州雄・スピーダーレントラル株代表取締役社長）は8月24日メルパーク東京（東京・芝公園）において第15回定時総会と設立15周年祝宴会を開催した。

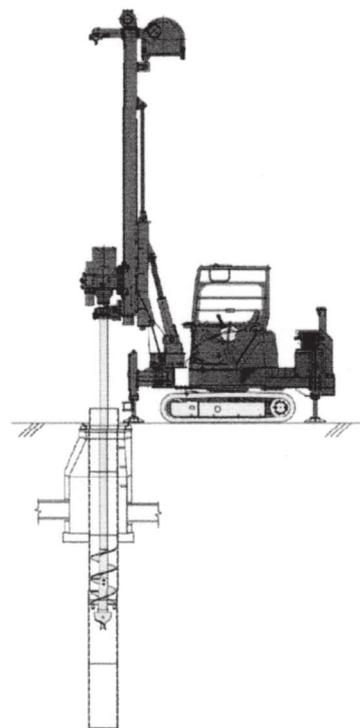
総会の冒頭、岡本会長あいさつで「非開削工事推進部会で活動の中心である小口径管推進工法では、これまでの水道や下水道などの地下インフラ整備だけにとどまらず、液状化対策工事や軌道下の障害物探査工事など、小口径管推進の適用範囲を拡大している。道路集水ます浸透工法の類似工法が登場し競争が激化してきたが、EGSM工法のシェアの確保に全力を尽したい」と語気を強め「雨水マンホールの底板を削孔し浸透量を拡大できるアースオーガータイプの強化促進で先行工法の強みを示していきたい」と対抗策を示した。アースオーガータイプとは、既設の雨水マンホールの底板を削孔しケーシングで圧入およびオーガー掘削し浸透管、浸透シート、内部碎石と荒目砂を投入しレインフィルター設置して施工完了するのも。施工期間も1箇所をおよそ1日というスピード施工。掘削深さも任意に設定することができるので、掘削深さを大きくして浸透量をさらに拡大することが可能とのこと。「すでに30件以上の施工実績があり、設置した自治体からは『即効性のある浸水対策』との評価を得ており、昨今の集中豪雨による浸水対策としてアースオーガータイプの普及促進を今年度の強化策とする」と力強くあいさつした。

総会では、今年度の事業計画として①非開削工事推進部会では、非開削技術の小口径管推進工法とアースオーガータイプを含めたEGSM工法、マンホール浮上防止対策工法であるインナーウエイト工法の受注

拡大を目指す②環境保全普及促進部会ではさらなる技術開発によるニーズの掘り起こしと各種水処理技術によって環境保全に寄与することを目的とした今年度の事業計画を示し、満場一致で可決承認された。

総会後の設立15周年記念祝宴会では、EGSM工法研究会会長の富樫邦男・(株)エルデック代表取締役会長が開会のあいさつで「おぼんで

山形弁で語りかけ「当協議会が15周年を迎えられたのは会員各社のご理解とご協力の賜物である」と会員各社の尽力に敬意を表し「海外展開やアースオーガータイプのEGSM工法の市場展開など新たな事業展開を促進し、さらに20年25年と当協議会の発展と会員各社の繁栄を期待する」とあいさつを締めくくった。乾杯の発声には当協議会理事の小荒井明・(有)モグラ研究所代表取締役が登壇し「15周年は会員各社の努力の賜物。当協議会と会員各社のますます発展を祈念して乾杯!」と発声し参加者の唱和によって祝宴会がスタートした。参加者は15年間の思い出や将来ビジョンなどを語り合い、和やかな雰囲気の中、祝宴会となった。



▲ アースオーガータイプのイメージ